

富 危 号 外
令和 8 年 10 月 9 日

各自主防災会長 様

富士宮市長 須藤 秀忠
(危 機 管 理 局)

地域防災訓練におけるデジタル簡易無線通信訓練の実施について（依頼）

令和 8 年度地域防災訓練の実施に伴い、デジタル簡易無線機の通信訓練を下記のとおり実施いたします。

各自主防災会におかれましては、ご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 令和 8 年 12 月 6 日（日） 午前 9 時 15 分から 9 時 45 分まで
- 2 場 所 各自主防災会の拠点
- 3 内 容 午前 9 時 15 分以降に指定避難所にいる市職員が無線機で呼びかけを行いますので、それに対して返答をお願いします。（詳細は裏面のとおり。）
- 4 その他 「令和 8 年度富士宮市地域防災訓練 計画書」の末尾に訓練時における連絡先の記入欄がありますので、御記入をお願いいたします。

富士宮市 危機管理局
担当：鈴木
TEL：2 2 - 1 3 1 9

デジタル簡易無線通信訓練の詳細について

午前 9 時 15 分	訓練開始	指定避難所にいる市職員が無線機で呼び出しを行います。 呼び出しは自主防災会ごと順番に行います。
	市	「〇〇自主防災会、〇〇自主防災会、こちらは◇◇避難所です。」 「感度がありましたら応答願います。どうぞ。」
～呼びかけが確認できたら、確認できた旨を下記のとおり応答願います～		
	自主防災会	「◇◇避難所、◇◇避難所、こちら〇〇自主防災会です。」 「感度良好です。どうぞ。」
	市	「〇〇自主防災会、通信を確認しました。こちらも感度良好です。」 「これにて〇〇自主防災会の通信訓練を終了します。」 「ありがとうございました。」
	自主防災会	「了解しました」
上記を一連の流れとして、1つの自主防災会への呼びかけが終了し次第、次の自主防災会への呼びかけを行い、市の地区担当班が担当する地区の全ての自主防災会との通信が確認できた段階で訓練を終了します。（※市の地区担当班の担当地区が複数ある場合は、呼びかけまで時間がかかる場合がありますので、ご了承ください。） 市職員は、<u>午前 9 時 15 分から 9 時 45 分までの間</u>、通信確認がとれるまで呼びかけを行います。それでも確認ができない場合は、地域防災訓練内での通信訓練は終了します。 なお、通信に不具合等があった場合には、「地域防災訓練計画書」にご記入いただいた通信訓練担当者様に市担当者から電話連絡させていただく場合がございますのでご了承ください。		
午前 9 時 45 分	訓練終了	

【参考】

無線通信をする際の文言は法規で定められています。

相手を呼び出すときには

①相手の呼び出し名称 ② こちらは ③ 自分の呼び出し名称

となります。

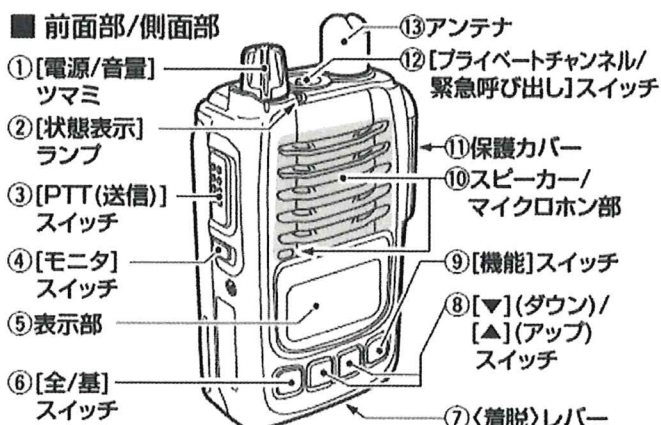
呼び出しに応答する際も同様となります。

また、無線機による通信は一方通行となります。受信と送信を同時に行うことはできません。

自分の通話が終わり、相手に通話を促す際には、最後に「どうぞ」を言ってから受信側に切り替えます。

自治会様向けデジタル簡易無線機携帯型取扱説明書

■ 前面部/側面部



■ 表示部



- ①局及び各種設定表示
- ②アンテナ表示(電界強度3段階)
- ③モード表示(全・メ)
- ④チャンネル表示
- ⑤個別呼出し着信時に点滅
- ⑦出力表示H: 5W L: 1W
- ⑧キーロック表示「ON」時
- ⑨バッテリー表示4段階

1. 電源の入切

前面部①[電源/音量]ツマミを時計回りに回すと電源が入ります
電源を入れますと表示部に無線機名称が表示後、通信表示が点灯します
※音声で設定チャンネルが読み上げます
電源を切る時は逆に回し「カチッ」と止まるところまで回してください(表示部が消えます)

2. 音量調整

前面部①[電源/音量]ツマミを時計回りに回すと音量が大きくなります
表示部に音量レベルが表示されます

3. チャンネル(CH)変更

チャンネルを変更する場合は前面部⑨[機能]スイッチを押すと現在設定のCHが表示されます
変更する場合は前面部⑧[▼][▲]にて選択してください(音声にてチャンネルを読み上げます)

4. 通話選択

通信操作する場合は前面部⑨[機能]スイッチを押すと地区名もしくは全体が表示されます
通信モードは全体 ⇒ グループ(メンバー)の2通りになります
前面部⑥[全/基]を押すと表示が変わっていきます
各通信モードの説明をします

☆全体(表示部③ 全)

全体の表示で送信しますと、同じチャンネルの同士全てと送受信できます

☆グループ(表示部③ メ) ※黒貫にメの意味はメンバー

避難所地区内限定の通信(主に使用します)

5. 通信操作

通話選択ができましたら側面部③[PTT(送信)]スイッチを押した状態で、前面部⑩マイクロホン部に話かけてください(無線機から約5cm位離してご使用ください)

通話(送信)が終わりましたら、③[PTT(送信)]スイッチを離してください(受信状態にしてください)

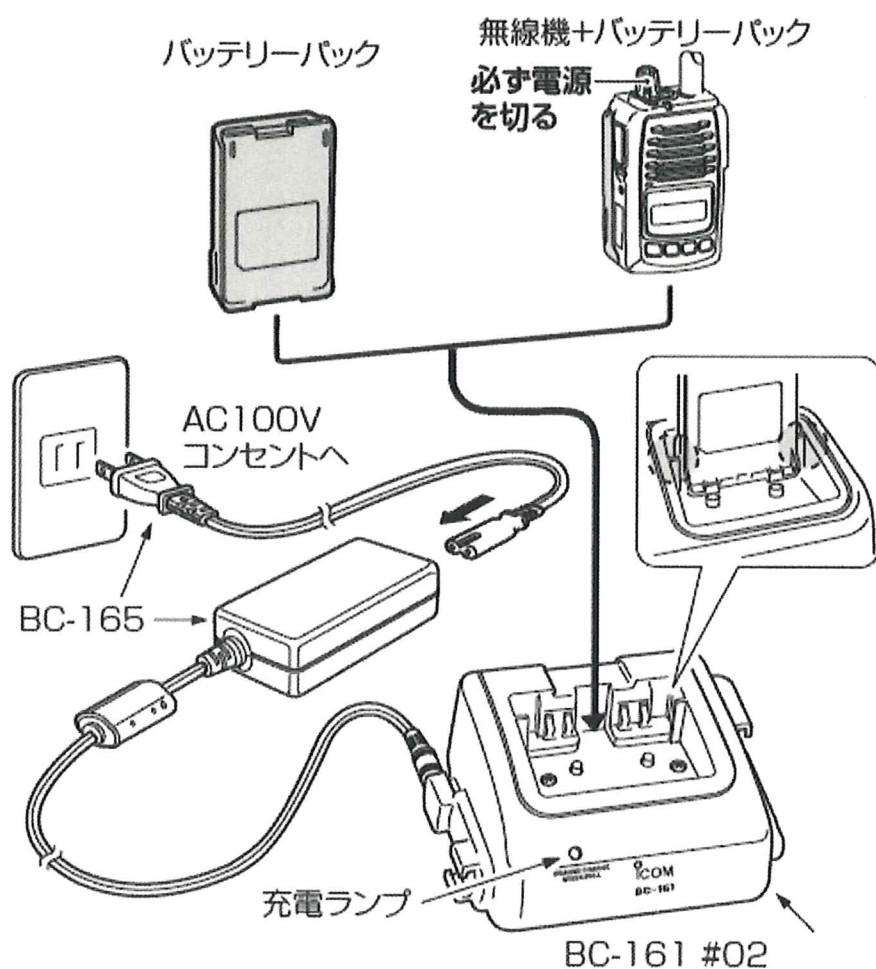
避難所グループで送受信をしますと、避難所及び地区名が前面部⑤表示部に表示される登録を予めしてあります

6. その他の機能

[全/基]長押し ⇒ 出力切替 H 5W、L 1W ※通常はH 5Wに設定

[機能]長押し ⇒ ロック機能 カギのマーク点灯 (解除も同じ操作)

7. 充電器とバッテリーの説明



■ バッテリーパック使用時の運用時間と充電時間

名 称		BP-220N					
定格項目							
種 類		リチウムイオン					
容 量	(min.)	2660mAh					
	(typ.)	2800mAh					
出力電圧		7.4V					
寸 法 (幅×高さ×奥行)		56×91×21.9					
【条件】突起物は、含まず/【単位】mm							
運 用 時 間	パワーセーブ	ON	OFF				
	送信	1W	約29時間	約23時間			
	出力	5W	約20時間	約17時間			
【条件】送信5、受信5、待ち受け90の割合で繰り返し運用							
充 電 時 間		約4時間					
【条件】BC-161 #02、BC-121NAを使用時							